

○氷床があったということがわかる地質というものは具体的にはどのようなものがあるのか？

→ここでいう地質というのは、〇〇岩（たとえば花崗岩）などと呼ばれる岩石の種類のことではなく、様々な岩石の堆積の状態のことを地質と表現している。迷子石や様々な氷河堆積物（主に巨礫と細粒な堆積物が入り混じった堆積物）が氷河があったことを示す。

○迷子石は、その場で迷子石と分かるものなのか？普通の石と変わらず見落としてしまわないのか？

→小さいものは見落とされているかもしれないが、大きいものは目立つので調べればわかるが、その石だけから分かるものではない。その石がある地域とその周辺の地質が分からないと、その石がどのようにして運ばれてきたのか判断することは難しい。

・ローレンタイド氷床や北ヨーロッパ氷床などの名前は自由につけられるのか？

→名前をつけるのは自由であるが、それが認められるかどうかはその名前の妥当性による。

・今までの宿題のプリントは返却してもらえないのか？

→返却する予定はないが要望があれば考える。

○現在ある氷河の下には、史上初めてののような地形等はある可能性は高いのか？また、どのくらい期待できるのか？

→南極氷床の中心部は、1000 万年以上氷床下にあり、このような地域で陸上に露出している地域は世界中に存在しないため、おそらく未知の地形が存在するであろう。ポストーク基地の下には、厚さ 3000m 以上の氷床の下に湖があることが知られており、1000 万年以上氷床下にあった水が存在する。10 年以上の氷河掘削によって、今年この水を採取することができた、との記事をちょうど今日読んだ。

○どのようにして過去の氷河が分かるのか？

→地形や地質から復元する。

○谷底平野に水が入ったら、U 字谷からフィヨルドのように名前が変化するのか

→海水が侵入したら、少なくとも平野ではなくなる。リアス式海岸になるか、海岸平野になるのではないか？名前が変わるのではなく地形が変わるので、それにともなって名前も変わる。

○放射性物質は、どこをどのように測るのか？

→例えば木の場合、いろいろなもので木を溶かしたり焼いたりして、炭素の塊にして、放射線量を計測する。

○リアス式海岸はどのようにしてできるのか？

→V 字谷に海水が侵入するとリアス式海岸になる。

○世界最大の津波はアラスカのフィヨルドで起こり、その原因は氷河が崩れたことであつたが、このような理由による津波でも他の地域や大陸に影響や被害があるのか？

→アラスカの津波の原因は、氷河が崩れたことではなく、フィヨルドの谷壁が崩壊したことが原因である。このような津波は、一般に地震によるものよりも津波発生域の面積が狭いため、他の大陸まで影響するかとはならないと思う。

○氷河、氷床の範囲が分かることで、今日の社会にどのような影響があるのか？

→時間スケールの長い話なので、直接影響することは少ないであろうが、間接的には様々な影響がある。氷床の範囲が分かれば、地質の理解につながり、それは都市の建設等、地盤に関わる開発を容易にする。また、気候が変動するということが分かっているならば、将来の変動に対して、対処の指針が得られるかもしれない。

○二つの氷床は、どうしてつながらなかったのか？

→あいだに海があったからだと思う。